



ふるさと笠松の「ちょっといい話」



「第1回笠松町あいさつ運動を実施しました。」

7月3日(水)から5日(金)までの3日間にわたって、第1回目の笠松町あいさつ運動が実施されました。主催は笠松中学校の生徒会です。その他にも岐阜工業高等学校と岐阜女子高等学校のMSリーダー(右の写真)や、笠松町内の小・中・高校の児童・生徒や先生方、「道徳のまち笠松」推進会議の委員及び町内の有志の方々など多くの人が参加してくださいました。

指導の先生からは「もっと大きな声で!」とか「気持ちを込めてあいさつをしましょう。」などの励ましの声が聞かれました。

はじめは照れくさそうだった児童や生徒も、活動が終わる8時頃には元気なあいさつができるようになりました。このあいさつ運動を1つのきっかけにして、学校や家庭、地域社会などでも、元気で明るいあいさつの声が響くようになることを願っています。

なお、このあいさつ運動は第2回目を12月4日、5日、6日、第3回目を平成26年1月23日、24日に予定されています。第1回目と同じように、多くの方々のご参加をお願いいたします。



笠松駅でのMSリーダーによる運動の様子

「挨拶」とは何か?それは「心を開いて、相手に迫る」ということである。つまり挨拶の「挨」という字は『開く』という意味であり、「拶」は『迫る』という意味である。
・・・元NHKアナウンサー 鈴木 健二氏の名言より



下羽栗小学校でのあいさつ運動



笠松駅での笠松中学校の生徒と町長さんによる活動

●心あたたまるいい話●それは★意外な話★ピンチに天使が舞い降りた話

「恩送り」・・・人から受けた恩を、ほかの人に順に送っていくという意味

「自主的に道路や公園などの掃除をしている人がいる?!」

最近、笠松町内の道路を車で走っている時、あることに気がついた。それは、以前に比べて道路脇に落ちているゴミが少なくなったことである。ゴミを捨てる人が減ったのかもしれない。でも、ゴミが減った一番の理由は、誰かがゴミを自主的に拾っていることではないかと思われる。もちろん岐阜工業高等学校の生徒さんたちがゴミ拾いをしてきていることも一因だろう。しかし、これだけゴミが減ってきたのは、私たちの知らないところで、知らない誰かが、ゴミ拾いをして下さっているからだと思われる。その方々に心から感謝を申し上げます。「ありがとうございます。」

小・中・高校生の皆さんからボランティア体験を募集します。笠松中央公民館担当まで連絡をお願いします。